

氏名	濱口豊太	部署	作業療法学科	職名	教授
研究分野	リハビリテーション学, 心身医学				
学位	博士(医学)				
学歴	東北大学大学院医学系研究科医科学専攻心療内科学分野				
経歴	帝京大学医学部附属市原病院 国際医療福祉大学 新潟医療福祉大学				
所属学会(役職)	日本行動医学会(評議員) 日本作業療法研究学会(副会長) 日本リハビリテーション学校協会(理事)				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	シンプル作業療法学シリーズ 作業療法学概論テキスト	共著	あり	南江堂, 646頁	能登真一他編, 濱口豊太(担当, 担当:分担執筆, 範囲:脳神経)	2024年1月	
2	作業療法評価学	共著	あり	医学書院, 271頁	東登志夫編, 濱口豊太(担当, 担当:分担執筆, 範囲:第III部, 作業療法の実際, 第12章, 身体障害領域の作業療法)	2023年10月	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Efficacy of an eHealth self-management program in reducing irritable bowel syndrome symptom severity: a randomized controlled trial	共著	あり	○	Scientific Reports 14(1) 4-4	Jun Tayama, Toyohiro Hamaguchi*, Kohei Koizumi, Ryodai Yamamura, Ryo Okubo, Jun ichiro Kawahara, Kenji Inoue, Atsushi Takeoka, Shin Fukudo *共同筆頭著者	2024年1月
2	【バイオフィードバック】過敏性腸症候群とバイオフィードバック	単著	なし	○	精神科 43(4) 481-487	濱口 豊太	2023年10月
3	Changes in caregiving risk and motor function among older adults participating in community gatherings in Koshigaya city	共著	あり	○	The Journal of Physical Therapy Science 36 117-122	Takaya Abe, Keisuke Kubota, Takahito Nakamura, Yoshinori Kitabatake, Hiroo Furusawa, Toyohiro Hamaguchi, Naohiko Kanemura, Yayoi Amakusa	2024年2月
4	車椅子使用者のトイレ室内転倒検出における熱画像センサ設置位置の選定ための模擬試験	共著	あり	○	支援工学理学療学会誌 3(1) 5-12	白銀暁, 木戸聡史, 村田健児, 宮坂智哉, 佐賀匡史, 濱口豊太, 田中敏明	2023年9月
5	Development of an Application That Implements a Brain-Computer Interface to an Upper-Limb Motor Assistance Robot to Facilitate Active Exercise in Patients: A Feasibility Study	共著	あり	○	APPLIED SCIENCES-BASEL 13(17) 1-9	Tadashi Yamamoto, Toyohiro Hamaguchi	2023年9月
6	Displaced center of pressure on the treated side in individuals with essential tremor after radiofrequency ablation: A longitudinal case-control study	共著	あり	○	Frontiers in Neurology 14, 10.3389/fneur.2023.118208	Atsuya Sato, Takaomi Taira, Kazuya Kitada, Toshiki Ando, Toyohiro Hamaguchi, Michiko Konno, Yoshinori Kitabatake, Toshiyuki Ishioka	2023年6月

7	Prevalence of Irritable Bowel Syndrome in Japan, China, and South Korea: An International Cross-sectional Study	共著	あり	○	Journal of Neurogastroenterology and Motility 29(2) 229-237	Atsushi Takeoka, Takuya Kimura, Shintaro Hara, <u>Toyohiro Hamaguchi</u> , Shin Fukudo, Jun Tayama	2023年4月
8	Clinical utility of markerless motion capture for kinematic evaluation of sit-to-stand during 30 s-CST at one year post total knee arthroplasty: a retrospective study.	共著	あり	○	BMC musculoskeletal disorders 24(1) 254-254	Katsuya Onitsuka, Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Taku Miyazawa, <u>Toyohiro Hamaguchi</u> , Hiroto Taniguchi, Naohiro Usuki, Satoshi Miyamoto, Ken Okazaki, Kenji Murata, Naohiko Kanemura	2023年4月

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	Web-based self-care alleviated changed default mode EEG in adolescent female IBS.	単独	The 17th International Congress of the Behavioral Medicine, バンクーバー	○ <u>Toyohiro Hamaguchi</u>	2023年8月
2	慢性期脳卒中患者における反復性経頭蓋磁気刺激と作業療法の併用治療による上肢機能の重症度別回復推定	共同	日本リハビリテーション医学会秋季大会, 宮崎市	○坂本 大悟, 濱口 豊太, 中山 恭秀, 安保 雅博	2023年10月

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))	ニューラルフィードバックによる脳腸相関異常を制御する装置開発とその練習効果の検証	研究代表者	2022.4~2025.3
2	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))	消化管知覚過敏を軽減させるニューラルフィードバック練習装置の開発	研究代表者	2019.4~2024.3
3	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))	最適運動軌道と脳活動：目標の明示化による練習効果	研究分担者	2020.4~2024.3
4	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))	手指運動画像から筋緊張と麻痺の重症度を推定するアプリケーションの開発	研究分担者	2021.4~2024.3
5	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))	手指に痛みない美容師の缺の使い方を学習して手指の障害を予防する缺練習装置の開発	研究分担者	2019.4~2024.3

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	リハビリテーション基盤実践学特論	○	3	リハビリテーションの基礎研究から実証研究までの階層化された研究論文を紹介し、研究知見の社会実装に至る手続きを解説した。
2	行動神経作業療法学特論	○	15	脳卒中片麻痺上肢のニューロモデュレーションを促す運動療法、作業療法、経頭蓋磁気刺激法について最新の研究成果を解説した。
3	心身機能作業療法論	○	15	脳波周波数解析による消化器心身症の特徴量を分類して解析する機械学習方法について解説した。

4	機能支援系作業療法論	○	15	上肢運動療法技能を練習または技能測定するアームロボットの開発とその成果について解説した。
5	リハビリテーション教育学Ⅰ	○	2	理学療法士と作業療法士の養成施設における指定規則に基づく教育について解説した。
6	リハビリテーション教育学Ⅱ	○	2	理学療法士と作業療法士の養成のためのカリキュラム構成について解説した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	総合作業療法演習	○	30	国家試験問題を難易水準とした作業療法の臨床知について講義した。
2	リハビリテーション学演習 (行動神経作業療法)	○	30	臨床で行われる脳卒中片麻痺上肢のニューロモデュレーションを促す経頭蓋磁気刺激実験と、作業療法計画立案を指導した。
3	心身機能作業療法演習	○	30	受講生には注意バイアス修正法と、認知行動療法、脳波Decoded Neuro Feedbackの練習方法の実験計画を立案させた。
4	機能支援系作業療法演習	○	30	動力支援装置とVR装置によるリハビリテーションの実験を指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW実習		2023.8~10	1チームの指導
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4~2024.3	主指導 3名	副指導 0名
2	修士論文	2023.4~2024.3	主指導 (指導教員) 2名	副指導 (指導補助教員) 1名
3	博士論文	2023.4~2024.3	主指導 (指導教員) 5名	副指導 (指導補助教員) 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	蕨市	介護保健運営協議会・会長	2020.4~	
2	蕨市	高齢者福祉計画等策定懇談会・会長	2020.4~	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発センター (センター長)	2020.4~	
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会 (委員長)	2020.4~	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			

7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		